

施策番号	0102		
施策名	低炭素型のくらしやまちづくりの実現		
概要	低炭素型のくらしやまちづくりのために、環境に優しいライフスタイルへの転換や再生可能エネルギーの利用など、省エネ省資源化に向けた取組を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・環境企画部、地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市環境基本計画2016～2025,京都市自動車環境対策計画(2011～2020), 京都市地球温暖化対策計画〈2011-2020〉,京都市エネルギー政策推進のための戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	26年度	27年度	28年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト	
1 新規エコドライバーズ宣言者数(人)	b	b	17,538	14,948	20,000	74.7%	c	1.00	
2 エコ学区宣言数(学区)	a	b	200	222	222	100.0%	a	0.50	
3 「DO YOU KYOTO?」関連イベント参加者数(人)	-	-	812,477	804,848	813,000	99.0%	b	0.50	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度	27年度	28年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	b	b	71 14.0%	210 41.5%	162 32.0%	43 8.5%	20 4.0%	506	b
2 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	c	c	38 7.5%	124 24.5%	217 42.8%	94 18.5%	34 6.7%	507	c
3 京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	c	c	25 5.0%	131 25.9%	236 46.7%	78 15.4%	35 6.9%	505	c
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価				c	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					27年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の皆様や事業者の方々により展開されるエコドライブや環境にやさしい活動は、行政の取組だけでなく各々の意識啓発が大切であることから、市民の実感に重みを置く。						26年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・平成20年度から毎月16日を「DO YOU KYOTO?デー」(環境に良いことをする日)と定め、市民や事業者の方々と一緒に、公共交通の利用促進や省エネなどの環境にやさしい取組を推進しているが、それらの施策が広く市民や事業者の方々にまで浸透し、効果を実感していただくには一定の時間を要することから、前年度に引き続きc評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		27年度決算額	28年度予算額		
1	事業者による地球温暖化対策の推進	57,186	45,548	かなり良い	環境政策局
2	京のアジェンダ2.1推進事業	17,745	16,717	普通	環境政策局
3	再生可能エネルギー等利用推進事業	284,031	331,320	普通	環境政策局
4	「DO YOU KYOTO?クレジット」を活用した地域の温室効果ガス排出量削減促進事業	10,605	6,351	かなり悪い	環境政策局
5	スマートシティ京都プロジェクト	41,834	17,162	良い	産業観光局
6	環境マネジメントシステム(KYOMS)の推進	17,750	12,057	良い	環境政策局
7	京都環境賞	5,128	5,229	良い	環境政策局
8	環境保全活動の普及啓発	23,331	22,106	良い	環境政策局
9	省エネルギー型事業活動の推進(KE S認証取得の促進)	2,290	2,183	良い	環境政策局
10	エコドライブ推進事業	12,616	10,577	普通	環境政策局
11	「エコ学区」関連事業	41,822	66,182	良い	環境政策局
12	グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト	46,907	48,410	良い	産業観光局
13	住宅の省エネルギー化推進	56,192	108,985	かなり悪い	都市計画局
14	地球温暖化対策条例の推進	107,497	88,264	—	環境政策局
15	「DO YOU KYOTO?」推進事業～環境にやさしいライフスタイルへの転換～	27,052	41,176	普通	環境政策局
16	水素エネルギー普及促進事業	35,295	190,104	良い	環境政策局
17	自動車環境対策	12,563	13,277	—	環境政策局
18	「京都スマートシティエキスポ」の開催	5,890	5,890	—	産業観光局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・自動車関連団体との連携を拡大し、エコドライブ推進月間における啓発イベントの実施やエコドライブ教室開催等の取組により、引き続きエコドライブの普及拡大を図る。
- ・再生可能エネルギーの利用は、住宅用太陽光発電システム等の設置助成制度を実施するとともに、バイオマスエネルギー等についても引き続き取組を推進する。
- ・地域ぐるみで環境にやさしいライフスタイルへの転換や地域力の向上を図る「エコ学区」関連事業の取組を進めるとともに、市民や事業者の方々に、引き続き毎月16日のDO YOU KYOTO?デーにおけるノーマイカーデー等の環境配慮行動の実践を呼びかける。
- ・以上のことにより、市民や事業者の方々と一体となった取組を続けていくことで市民生活実感評価の向上を図り、低炭素型のくらしやまちづくりを推進する。

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現
-----	------	-------------------

指標名	新規エコドライバーズ宣言者数(人)
-----	-------------------

担当課	環境管理課	連絡先	222-3951
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

ふんわりアクセルやアイドリングストップなどの環境にやさしい運転方法である「エコドライブ」に取り組むことを新しく宣言した人数

2 指標の意味

低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい運転方法の普及状況を計る指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	17,538	14,948	2,590人減	20,000	京都市自動車環境対策計画<2011~2020>に基づき、毎年2万人ずつの増加を目指す。	74.7%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		毎年2万人	32年度	74.7%	京都市自動車環境対策計画<2011~2020>

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
 a：100%以上
 b：75%以上～100%未満
 c：50%以上～75%未満
 d：25%以上～50%未満
 e：25%未満

6 基準説明

当該指標については目標達成の100%以上をa、以下25%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

26	27	28
b	b	c

指標名	エコ学区宣言数(学区)
-----	-------------

担当課	地球温暖化対策室	連絡先	222-4555
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

低炭素社会実現やライフスタイルの転換に向けた先進的な取組を総合的に実践する「エコ学区」事業の学区宣言数

2 指標の意味

低炭素社会の実現やライフスタイルへの転換状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：「エコ学区」事業の学区宣言数の合計
 出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	200	222	22学区増	222	平成27年度の目標を達成するために、当年度達成すべき数値	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		222学区	27年度	100.0%	全222学区での宣言

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
 a：100%以上
 b：80%以上～100%未満
 c：50%以上～80%未満
 d：20%以上～50%未満
 e：20%未満

6 基準説明

平成27年度までの3年間で全222学区でのエコ学区宣言を達成する目標であり、単年度目標は、平成25年度101学区、平成26年度は206学区、平成27年度は222学区とする。評価年度で、単年度目標を上回る場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

26	27	28
a	b	a

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現				
指標名	「DO YOU KYOTO?」関連イベント参加者数（人）					
担当課	地球温暖化対策室	連絡先	2 2 2 - 4 5 5 5			
1 指標の説明						
「DO YOU KYOTO?」関連イベントの参加者数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
「DO YOU KYOTO?」プロジェクトへの市民の参加度を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	812,477	804,848	7,629人減	813,000	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	99.0%
	全国順位	中長期目標			根拠	
		数値	目標年次	達成度		
数値		910,000	32年度	88.4%	京プラン実施計画 第2ステージ	
備考	前指標（「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数）の対象は事業者のみであったため、市民全体を対象とする指標に変更した。					
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		市民・事業者の皆様と共に、地球温暖化対策の取組を啓発することは、温室効果ガス排出量削減に大きく寄与する。「DO YOU KYOTO?」関連イベントに多数の方々が参加され、環境にやさしい取組の輪を広げることが重要であるため、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		26	27	28
				-	-	b